

今後の大災害に対する備え

～東京都 下水道局～



東京都下水道局 計画調整部長

ほろいわ しげゆき

褰 岩 滋 之

TOKYO強靱化プロジェクトの策定

○TOKYO強靱化プロジェクトを策定（令和4年12月）

- ・2040年代に目指す東京の姿とその実現に向けた道筋を明らかにするために、「TOKYO強靱化プロジェクト」を策定
- ・激甚化する風水害や、大規模な地震・火山噴火などの災害から都民の生命や暮らしを守り、首都東京の機能や経済活動を維持するため、将来を見据えて対策を強化



強靱化に向けて2040年代に目指す東京の姿

1 基本的な考え方

強靱化に向けて
2040年代に
目指す
東京の姿

- 気候変動や地震等の脅威に対して、ハード整備に加え、社会情勢の変化を踏まえたソフト対策により、**都民の生命を最大限守り、都市の被害を最小限に抑え、都市の機能を早期に回復できる都市**
- 多様な危機への万全な備えが評価され、様々な投資を呼び込むとともに、国内外から人々が集う、**安全・安心で持続可能な都市**

5つの危機



風水害への備え



地震への備え



火山噴火への備え



電力・通信等の途絶への備え



感染症にも強いまちづくり

下水道局関連プロジェクト

○5つの危機に備えるプロジェクトの中で、下水道局は4つに関連

(1) 激甚化する風水害から都民を守る

- ・気候変動による更なる激甚化に向けて対策のレベルアップを実施
- ・降雨量1.1倍、海面水位最大60cm上昇といった気候変動への対策を実施

下水道局では・・・

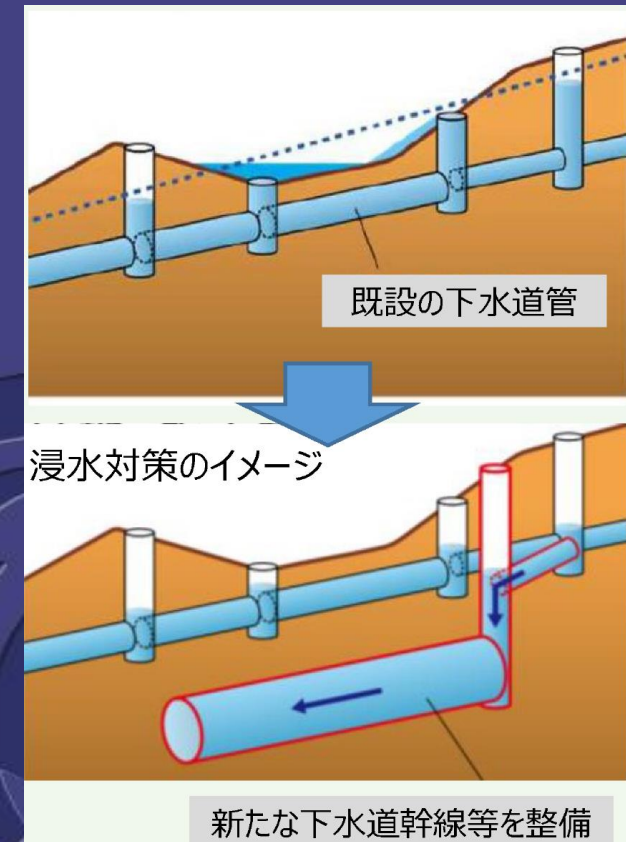
- 下水道浸水対策の強化
- 下水道施設の耐水化のレベルアップ

(2) 大地震があっても「倒れない・燃えない・助かる」まちをつくる

- ・都心南部直下地震(都内最大深度7)による被害想定では、死者 約6千人、建物被害 約19万4千棟 といった甚大な被害
- ・これまでの対策により状況は改善しているが、取組のレベルアップによる更なる対策が必要

下水道局では・・・

- 下水道管路の耐震化の推進
- 水再生センター・ポンプ所に加え、雨水調整池等を優先的に耐震化する施設に追加



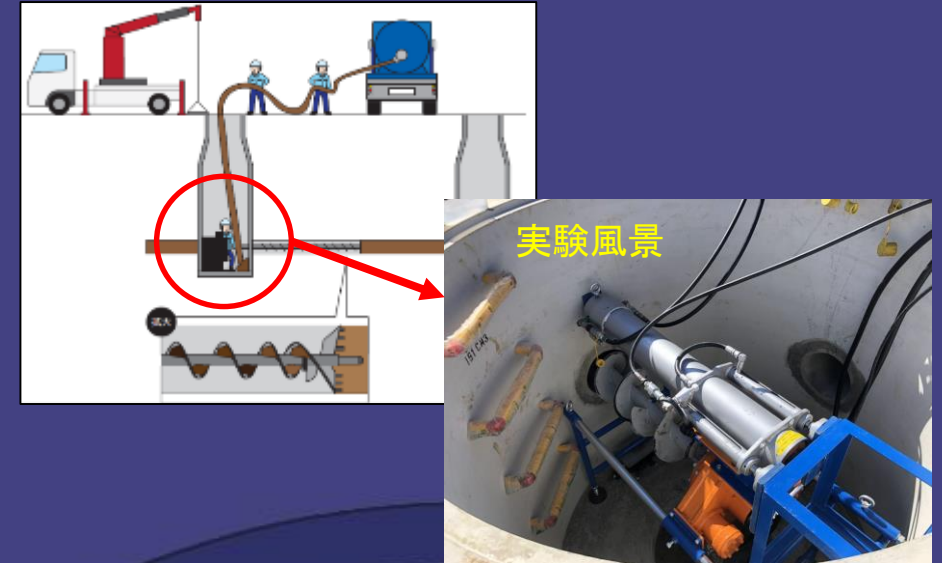
下水道局関連プロジェクト

(3) 噴火が起きても都市活動を維持する

- ・富士山が大規模噴火した場合、最悪のケースでは大量の降灰により停電の発生や、道路の交通支障など、重大なインフラ被害が発生
- ・迅速な都市機能回復に向けて道路啓開の体制構築などが必要

下水道局では・・・

- 下水道管内の除灰技術の開発



(4) 災害時の電力・通信・データ不安を解消する

- ・災害に備え、エネルギー確保や通信の強靱化に向けたまちづくりが進んでいるものの、情報通信基盤の安定的な確保や、早期復旧に向けて取組を強化する必要

下水道局では・・・

- 都有施設への太陽光パネル設置推進(下水道施設や建物屋上等の活用)



今後も災害対策を強力に推進していきます！